



まいた

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

わくわくミュージックフェスティバル

校長 保科 泉

「ああ、きんちようする。」

はじめの言葉の順番を待つ六年生が、私の顔をちらつと見ながら、そうつぶやきました。いつもの元気な笑顔が、今日は幾分かおぼついています。これからいよいよ「わくわくミュージックフェスティバル」の始まりです。

十一月二十日（金）は、全校の子供たちが集まつの校内発表会です。わくわくしながらも緊張感がただよいます。これまで練習してきたことをたくさんの子供たちの前で発表することのわくわく感と、うまく演奏できるかどうかの不安感とがあいまった独特の雰囲気です。

皮切りは、五年生。複雑なリズムを手と足と心をそろえて重層的に体を使って表現したボディーパーカッション「イバ・マルタ」。柔らかで優しい歌声の二部合唱「ゆうき」。そして合奏「空も飛べるはず」。どれもさすが高学年、と感心させられる出来栄でした。「勇気を持っているから自分。勇気は逃げない。くじけない。小さなげんこつ握りしめ大きく育つ。」歌詞の心が演奏する五年生の成長と一緒によく伝わってきました。

次は三年生。十一月十九日に南公会堂で行われた南区音楽会で発表した同じ曲を演奏します。リコーダー演奏の「ラ・フォリア」は、今年リコーダーを練習し始めたとは思え

ないくらい、難しい長い曲を息と心を合わせて演奏しました。そして担任の佐藤洋輔先生が作った「明日はきつと」の合唱。九月に初めてこの曲を歌った時のことを思い返すと、本当に思いの込もった合唱に声も子供たち自身も成長しました。

一年生は学校が終わってから翌朝までをオペレッタ風に構成した「きらきらぼし」他三曲の演奏です。入学して半年余りの一年生が、それぞれのパートをしっかりと担って楽器演奏や歌を歌う姿はとても素敵でした。

二年生の合奏は、いろいろな楽器でリズムをしっかりと刻んで歯切れの良い演奏をしていました。熱心に練習した成果ですね。合唱曲「にじ」は、曲の良さを明るく元気な声で表現しました。「きつと明日はいい天気」の歌詞は三年生の歌につながりますね。

四年生は「エーデルワイス」を日本語、英語、合奏で順番に発表しました。二曲目の「地球の仲間」ともに子供の指揮者による発表でした。難しい曲でしたが「自然が花を咲かせている」という命と自然の歌を、声をそろえて伝えました。合奏は「ラ・クンパルシータ」。楽器の特徴を生かしながら、タンゴの大人っぽいリズムを上手にとらえて演奏しました。

最後はいよいよ六年生。合唱「星の大地に」合奏「宝島」合唱「いつか」三曲の発表です。第一声から響きを意識したきれいな歌声を、体育館全体に届かせてくれました。合奏もさすが六年生とうなりました。体全体で音楽の楽しさ、力を合わせる素晴らしさを表現してくれ、最高学年の面目躍如、の演奏でした。

二十一日にはたくさんさんの保護者地域の皆様にご参観いただき、一層張り切って発表することができました。ありがとうございました。

のびのび教室

本校では、教室での学習が分からない、何らかの理由で授業に集中できない、というお子様に、保護者の方とご相談の上で、そのお子様に合った方法で、個別または少人数の学習指導を行う「のびのび教室」があります。このことについてご相談されたい保護者の方がいましたら、担任または児童支援専任にご連絡ください。